

3 学部合同学生セミナー

| | | | |
|--------------|--|-----|--------|
| 責任者・コーディネーター | 佐藤洋一 全学教育推進機構長 | | |
| 担当講座・学科（分野） | 全学教育推進機構委員会（3学部合同学生セミナー実行委員会） | | |
| 担 当 教 員 | <p>【医学部】 小林 誠一郎 医学部長、佐藤 洋一 全学教育推進機構長、小笠原邦昭 教授、高橋 和宏 准教授、村上 秀樹 講師、木村 桂 講師、吉田 智之 助教</p> <p>【歯学部】 三浦 廣行 歯学部長、石崎 明 教授、八重柏 隆 教授、杉山 芳樹 教授、城 茂治 教授</p> <p>【薬学部】 前田 正知 薬学部長、駒野 宏人 教授、小澤 正吾 教授、那谷 耕司 教授、名取 泰博 教授、西谷 直之 講師、佐藤 淳也 講師</p> <p>【教養教育センター】 三浦 康宏 助教</p> | | |
| 対象学年 | 6 学年（全学部） | 期 間 | 前期 |
| 区 分 | 演習 | 単位数 | 0.5 単位 |

■ 学習方針（講義概要等）

専門職連携教育(Interprofessional Education)の一環として、5 学年まで修得した医学・歯学・薬学の専門知識と経験をもとに、3 学部の学生が症例を PBL 形式で検討する。各症例の診断、病態生理および治療を各学部生で事前に検討しておく。セミナー当日に学部間で意見交換をおこない、それぞれの専門職がどのような観点から病に対しての病者に対する多角的な見方を育てる。

■ 教育成果（アウトカム）

専門知識を修得した学生が、他の学部学生とともに症例の診断、病態生理、および治療を、患者の立場に立って討議することで、他の職種の見点を知ることができる。また、討議の過程で、自らの職種に対する誇りを持つとともに、他職種を尊敬する謙虚さを身につけることが可能となる。あわせて、専門分野の知識を非専門家に説明することの難しさを実感することで、コミュニケーションスキルの向上を意識するようになる。

■ 到達目標（SBOs）

- 1、医学、歯学、薬学それぞれの立場から、症例患者がどのような病気で苦しんでいるか診断できる、あるいは最終診断に向けてどのような検査が必用か、述べるができる。
- 2、医学、歯学、薬学それぞれの立場から、診断過程、病態生理と治療方針を他職種にわ

かりやすく説明できる。

3、医療職として、患者の今後のケアに何が必用か、列挙できる。

4、実際の医療現場に於いて、どのような他職種間のコミュニケーションギャップがあるか、列挙できる。

5、他職種間の評価方法を述べることができる。

■ 成績評価方法

演習態度・レポート等を総合的に判断する。

■ 事前学修時間・内容

事前に提示された症例について、各学部の専門分野に関連して病態生理や治療方法、患者への対応等について、教科書や参考書、図書館を利用して調べておくこと。また、学部内で討議して問題点を明らかにしておくこと。これらの作業には、およそ7時間以上を要する。

■ 特記事項・その他

開催日：平成27年4月11日（土）～12日（日）

会 場：安比グランドホテル

対 象：医学部・歯学部・薬学部 各20名